



令和3年度 施政に関する基本方針 「世界に羽ばたく国際都市 泉佐野」

～ひとを支え ひとを創り 賑わいを創る～

千代松市長は3月3日の定例市議会で、令和3年度の施政に関する基本方針を表明しました。

問合先 政策推進課

21世紀が始まり、最初の20年が経過しました。昨年からのコロナ禍は、我々の生活を根底から覆すとともに、長年潜んでいた社会のゆがみを、弱点として一気に噴出させました。この難局を団結力と忍耐でもって乗り越え、持続可能な未来を描き、創り上げていく歩みを始めたところです。まさに今、日本がそして泉佐野が変わりつつあります。

こうしたなか、国の動きとしましては、新型コロナウイルスの感染症拡大防止と経済回復に総力を挙げて取り組み、ポストコロナの新しい社会を創り上げていくとされています。また、コロナを機に地方への関心が一層高まるなか、デジタル化を進めつつ、地方への人の流れを生み出し、地方経済の活性化を図るとしていることから、本市としましては、まちを活性化させる「地方創生」

を積極的に取り組んでまいりる所存であります。

一方、大阪府におきましては、ウィズコロナからポストコロナを見据え、「大阪の再生・成長に向けた新戦略」が策定されました。大阪の再生・成長を図るため、新たな潮流なども踏まえ、2025年大阪・関西万博のインパクトを生かし、経済成長面からの取組に加え、くらし、安全・安心といった観点からの取組も進め、日本の成長を牽引する東西二極の二極となる「副首都・大阪」を確立・発展させていくとしています。

本市におきましては、財政状況としまして、平成25年度決算での財政健全化団体からの脱却後、黒字決算を堅持しているものの、一般会計決算の経常収支比率は依然として100%を上回っており、経常的な支出を経常的な収入で賄っていないという財政の硬直化をもたらす状況であります。今後も地方債の残高を多く抱え、高水準の公債費負担が継続することに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による市税の大幅な減収が見込まれます。また、地方交付税制度の改正や社会保障費の増加など不確定な要素も多いことから、更なる財政の硬直化を招くことが予想されます。

こうしたことから、今後の財政運営は「中期財政運営方針」に基づき、黒字決算の維持・継続を図るため、歳出面では限りある財源を効率的かつ効果的に活用するための事業の選択と集中を進めてまいります。歳入面では、市税収入の確保をはじめ、市有財産の有効活用や新たな財源の創出に取り組んでまいります。また、「地方創生」につきましては、国からの交付金をはじめ、基金の活用など、その財源の確保に努めてまいります。

厳しい社会情勢下においても市民サービスの低下を招くことなく、また市民ニーズを反映した行政施策などにも対応できるよう、市民のみならずのご理解、ご協力を賜りながら、一生懸命取り組んでまいります。

施政に関する基本方針で表明した主な取り組みについては、6～9ページで紹介しています。



施政に関する基本方針

令和3年度 今年度の主な取組

施政方針は抜粋したものです。全文はホームページ (http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/sisei_hosin/) をご覧ください。

地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり

【観光】

- 関西国際空港の目の前という立地特性を生かし、ウィズコロナを意識した国内旅行者向けのツーリズムを展開し、地域の活性化を図ります。
- ポストコロナを意識した訪日外国人旅行者の回復に向けた高付加価値な商品造成、地域資源の磨き上げなどを図る観光施策を進めます。
- フードツーリズム促進に向けた食イベントの開催や「(仮称)りんくう野外文化音楽堂」の整備など、地域経済の活性化に寄与する取組を推進します。
- 紀泉地域の広域観光を推進する紀泉連絡会に参画し、地域の活性化を図ります。
- 山間部から海岸部まで時代順に3つの日本遺産のストーリーがつながる日本屈指の「歴史文化遺産都市」となったことから、サイン案内やARアプリなどの解説、体験の幅を広げることで、多面的な魅力をアピールし、訪れたいくなるような機会を創出します。



日本遺産 中世日根荘の姿を
今に伝える大木の農村風景

【国際化】

- 友好都市として提携している都市や友好関係にある都市とも、リモートなどのICTを活用しながら、可能な交流を進めます。
- 在住外国人に対しては、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、様々な生活上の相談ごとについて、スムーズに相談窓口につなぐことができるよう、関係機関と連携しながら、多言語での情報発信や通訳支援などに努めます。
- 文化・スポーツなど身近な行事を通じた交流や学校内のICTを活用したリモート交流事業を実施し、ウィズコロナ下に応じた国際交流を推進します。
- 関空を支える立場として、関空関連企業からの人材受入などの支援にも取り組みながら、日本の玄関「国際都市」にふさわしいまちづくりを進めます。

【産業】

- 国が「新しい生活様式」を推進していることを踏まえ、古民家などの遊休不動産を活用し起業などの機運を高める支援を通じて、空き家の解消のみならず、市外から市内への事業所や従業員の移転・移住促進に努めます。
- 「泉州タオル」の生産量日本一を目標に、業界や他の支援機関との連携により、ブランディングの強化を図ります。
- 企業の進出需要に応じ、新たな産業用地を創出するため、大阪府の公園整備予定地である泉佐野丘陵緑地(旧泉佐野コスモポリス用地)の未整備部分を、大阪府と協議のうえ産業用地に転換し、企業を誘致することで、地域経済の振興と雇用・定住の促進に取り組みます。

【雇用・労働】

- 感染症拡大によって変革が生じている労働市場においても就職に結びつきやすい資格取得を支援するなど、時勢に応じた就労支援を図ります。
- 問題が顕在化してきた就職氷河期世代への就労支援と、農業分野での労働力不足を解決するための取組を開始します。
- 事業所などが外国人材を受け入れるにあたり、安定的かつ持続的な事業活動などに対して必要な支援を行うことと、受け入れる企業に定着する基盤の整備を目的とした外国就労者受入サポートセンターの活動を支援します。

ひとを豊かに育むまちづくり

【子ども・子育て】

- 「いずみさの子ども未来総合計画」を着実に遂行し、「豊かに成長できる 子育てのまち いずみさの」の実現に向けて、子育て支援施策の充実に努めます。
- 子育て中の親子が身近な地域で気軽に集い、相互交流や子育ての相談ができる環境づくりを進めます。
- 保育士就職支援補助金の支給および私立園永年勤続者表彰制度など、市独自施策を実施することにより、保育教諭などの確保に努めます。
- 子育て・生活支援について、仕事と子育てが両立できるよう関係機関と連携し、ひとり親の自立支援に努めます。
- 歯科健康診査や多胎妊娠時の妊婦健診の拡充を含め妊産婦健診補助での高水準の公費負担を維持します。

【学校教育】

- 「生きる力」を育む教育が実現できるよう、様々な学習にICTを活用した教育活動を推進します。
- 「泉佐野市子どもの主張コンクール」を開催し、子どもの表現力・提案力の向上に取り組みます。
- いじめや不登校、児童虐待などの問題について、未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図るため、スクールソーシャルワーカーの活用枠を拡充し、コロナ禍における児童・生徒の心の不安定さや家庭支援にも配慮します。
- 学校プール整備に伴い、水泳指導をより充実します。
- ICTを活用した教育活動の一環として「電子図書」との連携を図るなど、児童生徒の読書活動推進に努めます。
- 就学援助について、今年度より「オンライン学習通信費」を新たな援助費目として追加し、経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の就学奨励に努めます。
- 日新小学校、中央小学校および佐野中学校のトイレの洋式化を進めます。

- 学校の体育館および武道場の空調機器の設置について、年次的に設置を行っていますが、最終となる今年度は計6校の体育館、武道場に設置します。
- 学校教育に支障のない範囲で施設開放の拡大を図るため、今年度は新池中学校グラウンドに夜間照明設備を設置します。
- 学校給食費は、新型コロナウイルス感染症対策として、今年度も無償とします。
- 学校給食について、食文化の多様性や地産地消も意識した食育の推進に努めます。

【生涯学習・スポーツ】

- 図書館について、新たな取組として、読んだ本を記録することができる「泉佐野読書通帳」を配布し、市民の読書活動の推進を図ります。
- 今年度からWEB上に新たに「泉佐野市電子図書館」を開設し、電子書籍の貸出を開始することで、利便性の向上および新たな利用者ニーズに応えます。
- 本市に所蔵している全ての図書資料に、資料の情報をインプットすることができるICタグを貼り付け、将来的に図書館の管理・運営の効率化を図れるデジタル環境を整備します。
- 市民の読書活動のさらなる普及を目指すため、「(仮称) 泉佐野市民読書基本条例」の制定を進めます。
- 市民総合体育館や健康増進センターをはじめとするスポーツ施設について、老朽化した設備の更新などを計画的に行い、安全で快適なスポーツ環境の整備を図ります。



市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり

【地域共助・地域コミュニティ】

- 上之郷コミュニティセンターについて、指定管理者による管理運営に円滑に移行できるよう、準備を進めます。
- 公益活動を実施する市内の団体に対して、「公益活動応援基金」を活用し、その活動経費を助成する公益活動助成事業を今年度から開始するなど、市民による多様な公益活動の推進を支援します。
- 犯罪の抑止や検挙率の向上に資するため、警察と連携しながら、市域の約250カ所に設置した防犯カメラを活用します。

【人権・多文化共生】

- 「人権に関する市民意識調査」を実施し、実態把握に努めます。
- 「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」の改正や「泉佐野市人権行政基本方針」の改定を検討します。

- 市民一人ひとりの参加による人権行政施策を推進します。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により困難を抱える人が増加しているため、総合生活相談の機能を充実しつつ、関係機関の連携体制を強化します。
- 戦争の悲惨さとその悲劇を後世に伝えとともに、恒久平和を祈念して、檀波羅公園内にある慰霊塔付近に戦没者の名前を記した銘板を設置します。
- 昨年度に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果を踏まえ、「(仮称) 第3次泉佐野市男女共同参画推進計画」を策定します。
- すべての人がそれぞれの個性と能力を發揮しながらワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現し、ライフイベントに前向きなイメージを描けるよう、男女共同参画意識の形成を図ります。
- 外国人にも分かりやすいデザインなどの公共サインの設置に向けた取組に努めます。

すこやかで、ひとつながり支え合うまちづくり

【地域福祉】

- 「第3次地域福祉計画」に沿って、市民や社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会などの関係機関と連携を深めるとともに、協働の仕組づくりを推進します。
- あらゆる世代・対象に対応する総合相談窓口である基幹型包括支援センターを中心に、中学校区毎に設置した地域型包括支援センターをはじめとする関係支援機関と連携し、機能的で重層的な相談支援体制の整備に努めます。
- 広域連携のメリットを生かした福祉サービスの向上に取り組みます。

【高齢者福祉】

- 高齢者が安心して暮らせる、そして健康で生きがいを感じることでできるまちづくりに努めます。
- 地域において、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」に基づき、在宅医療と介護の連携や認知症施策などを推進します。
- 「泉佐野元気塾」や「健康寿命ウォーキング」などの介護予防事業の充実に努め、高齢者がいきいきと健康で元気に暮らすことができる施策を推進します。



【障害者福祉】

- 「いずみさのあいあいプラン」を着実に遂行し、障害のある人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、相談支援体制を充実させるとともに、必要とされる障害福祉サービスを確保し、障害者施策の推進に努めます。

【健康・医療】

- 市民一人ひとりが主役となり、健康寿命の延伸を図るため、「第2次健康増進計画・食育推進計画」に基づき、健康を支える環境づくりを進めます。
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、実施体制の構築など、迅速かつ適切な実施が可能となるよう集中的に取り組み、感染予防・拡大防止に努めます。
- りんくう総合医療センターでは、今年度から5年間の第3期中期目標期間が始まることから、その達成すべき業務運営の更なる効率化や、地域の中核病院として、患者や地域の信頼が高まるような良質な医療を提供していくことにより、健全な病院経営を目指すようセンターに指示します。
- 母子医療や救急医療体制の充実に努め、安心して医療を受けられるための支援を行い、健康を支える環境づくりを推進します。
- 泉州南部初期急病センターについて、地域医療機関などの協力のもと、初期救急医療の提供に努めます。

安全でひとと環境にやさしいまちづくり

【消防・防災】

- 近年の災害の教訓を生かし、防災に関する様々な分野の施策を総合的かつ計画的に進め、災害に強い強靱なまちづくりを進めます。
- 昨年、大阪府から想定しうる最大規模の高潮浸水想定および見出川、樫井川の洪水浸水想定が公表されたことを受け、令和4年度にかけて、地域防災計画や避難計画、ハザードマップの改訂を進め、市民と連携した避難体制の確保に努めます。
- 帰宅困難に陥りやすい訪日外国人に対しても、安全対策の向上に取り組みます。
- 国民の生命や財産の保護といった重要な任務を担う自衛隊と連携し、防災啓発コンサートを開催します。

【環境衛生・環境保全】

- 墓地について、施設の老朽度や緊急性を考慮した補修整備に努めるとともに、区画墓地および合葬式墓地の円滑な運営に努めます。
- 公衆トイレについて、ホテル建設に伴い泉佐野駅西側に設けた仮設の公衆トイレを含め、各施設の適切な維持管理に努めます。
- 雑草などの生い茂りや、みだりに廃棄物が放置されるなど、管理不全状態にある空地や家屋の抑制に努めるため、「(仮称)泉佐野市空地の雑草等除去条例」、「(仮称)泉佐野市管理不良住宅適正化条例」などの条例制定により、良好な生活環境の確保が図れるよう検討を進めます。
- 設立した「(一財)泉佐野電力」および「(一財)泉佐野ガス」から、市内公共施設への電気と都市ガスの販売を進めます。

【廃棄物処理】

- 「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」「泉佐野市分別収集計画」および「生活排水処理基本計画」に基づき、適正なりサイクルと資源循環の推進に努めます。
- 「泉佐野市プラスチックごみゼロ宣言」に基づき、エコバッグをイベントなどで配布する啓発活動を進めることにより、プラスチックごみの削減に努めます。
- 新ごみ処理施設の建設に向けて取り組みます。
- 今年度から業務委託により熊取町のし尿および浄化槽汚泥処理を受け入れます。

【生活安全】

- 消費生活について、生活様式の変化に伴って相談件数の増加が想定される分野を重点とし、予防策として、消費者に対する啓発、情報発信の強化に努めます。
- 増加している高齢者の運転による事故防止を目的に、高齢者への運転免許証の自主返納促進奨励事業として、泉佐野地域ポイント「さのぼ」の付与を引き続き行います。
- 自転車利用時の事故や転倒から頭部を守るためのヘルメットの普及促進を図るため、購入費助成として泉佐野地域ポイント「さのぼ」の付与やイヌナキン交通安全ステッカーの配布などを行い、交通事故の撲滅に向けた取組を進めます。



快適で住みやすいまちづくり

【道路・交通】

- コミュニティバスおよび観光周遊バスは、運賃無料での運行を継続します。
- 道路交通の安全性の向上および生活環境の改善を図るため、歩道および植栽帯の改良などの道路環境整備と舗装改修などの維持管理に努めます。
- 主要な道路橋については、「長寿命化修繕計画」に基づき、順次改修します。
- 都市計画道路泉佐野土丸線は、引き続き物件補償および用地買収を行い、早期完了を目指して事業を推進します。
- 関西国際空港と京奈和自動車道を結ぶ「京奈和関空連絡道路」の早期実現に向けた取組を進めます。

【公園・緑地】

- 公園施設の適正な維持管理に努めます。
- 老朽化した公園施設の安全確保や、公園の活性化を目的とした公園施設の改修や修繕、公園の再整備を進めます。
- 末広公園について、グラウンドやナイター照明などの老朽化した運動施設の改修、園路・散策路の整備を行います。
- 泉佐野南部公園と府営泉佐野丘陵緑地などを結ぶ榎井川沿いの河川管理道路を利用し、河川の景観を生かした散策道など、地域と融合した空間形成を目指した「かわまちづくり計画」に基づく事業を推進します。



【上下水道】

- 「安全」「持続」「強靱」を理念として、安全で良質な水を安定的に供給し、健全な経営を行うとともに自然災害に強い水道を目指し事業運営を行います。
- 老朽化した配水管および医療機関や避難所などの重要給水施設への配水管の耐震化を推進します。
- 大規模災害時の避難所におけるトイレ環境の整備を図るため、公共下水道が使用可能な箇所を対象に、マンホールトイレ設置の検討を進めます。
- 新たに策定した中長期的な経営の基本計画である「下水道事業経営戦略」に基づき、健全かつ持続可能な下水道経営を目指します。

【住宅】

- 住宅総合助成事業について、町会・自治会加入を条件として、地域ポイント「さのぼ」の付与制度で実施します。
- 地域に悪影響を及ぼす空家の解消に努めます。
- 市営住宅について、安心・安全な生活ができる良好な住環境を整備します。
- 効率的な市営住宅管理および債権管理に注力し、安心・安全な住宅の管理に努めます。

【市街地整備】

- 社会状況の変化などを踏まえ、駅周辺の高度利用化を促進する用途見直しなど、引き続き市域全体の都市計画の見直しを行います。
- 熊取駅西地区について、駅前にふさわしい良好な市街地の形成を図ります。
- 泉佐野東駅前交通広場の立体利用により、駅周辺の活性化を推進します。

総合計画の実現に向けて

【挑戦的な自治体経営】

- 泉佐野が「住みたいまち、住んでよかったまち」となるため、地域資源の活用、交流促進、定住促進を推進します。
- 観光情報や生活情報、緊急時の災害情報などを多言語で提供するホームページを運用します。
- 地方独立行政法人を活用した窓口を中心とした業務については、直営や委託とは違ったより柔軟な運用を可能とする有効な業務手法であることから、行政のデジタル化推進への取組も踏まえながら研究を進めます。
- 今年1月に立ち上げた「泉州地域都市制度勉強会」について、人口減少が進むなか、連携による自治体経営の必要性を共有しながら、持続可能で自立性の高い自治体経営を構築していくための有効な手段について研究を進めます。



【財政基盤の確立】

- 持続可能な財政基盤を確立するため、地方債残高の減少に努めます。
- 遊休財産の積極的な売却、ふるさと応援寄附やネーミングライツなどの税外収入の確保に加え、新たな財源の創出に努めます。
- 地方公会計制度により、財政状況の多角的な分析を推進し、健全な財政運営を行います。
- 感染症や経済危機などにも強い自律的な行財政運営に向け、機動的な対応が可能となるよう努めます。

【進行管理】

- 多様な手段で市民ニーズを的確に把握し、市政に反映できるよう広聴活動の充実を図ります。
- 「広報いずみさの」やホームページ、ケーブルテレビのほか、昨年度に開設した「LINE」の本市公式アカウントなどを通じて積極的に情報を発信します。
- ホームページのセキュリティおよび安定性の強化や、情報発信力の向上を図るため、システムの更新に取り組みます。
- 各施策において重要業績評価指標（KPI）を定め、行政評価システムを活用し、機能的な市政運営に努めます。
- 進行管理を分かりやすく市民に示すことで行政の透明性の向上を図り、説明責任を果たします。

令和3年度当初予算 総額923億4,741万円

一般会計予算の特徴

実質的には、対前年度比21億5百万円(4.1%)の増ポストコロナに向けて)

問合先 行財政管理課

令和3年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響による市税の大幅減が見込まれる中でも、新型コロナウイルス感染症への対策を継続的に実施しながら、令和元年度からスタートした「第5次泉佐野市総合計画」を計画的に推進していくために、ポストコロナに向けた地域経済への活力、教育環境や住民の生活基盤の整備に重点を置いたものとなりました。

歳出ではワクチン接種を初めとした新型コロナウイルス感染症対策事業などの臨時的な要因がある中、各分野で基金活用による事業推進を図るものとし、投資的経費は、継続事業である泉佐野土丸線・熊取駅西地区整備や学校プール整備事業に加え、小・中学校体育館・武道場の空調整備などの緊急性の高い事業を予算計上しました。

その他の主な政策経費として、「活力・賑わい」では「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」でのモンゴル国・ウガンダ共和国選手団の事前合宿などのホストタウン事業や、コロナ禍にサテライトオフィス・ワーケーションを通じて首都圏などから企業と人材の誘致を目指す新たな生活様式推進事業、「教育」では新型コロナウイルス感染症対策事業として小・中学校給食無償化の継続実施や、災害時の避難所となる小・中学校の体育館・武道場の空調の継続整備と第一小学校プールを市民プールとして整備、「健康」では新型コロナウイルス感染症予防接種の実施、「防災」では最大規模の高潮や洪水を想定した地域防災計画、ハザードマップの見直しや、市役所庁舎非常用電源稼働用燃料タンクの増設工事、「生活基盤」では鶴原団地住宅(8~15棟)建替事業などを行います。

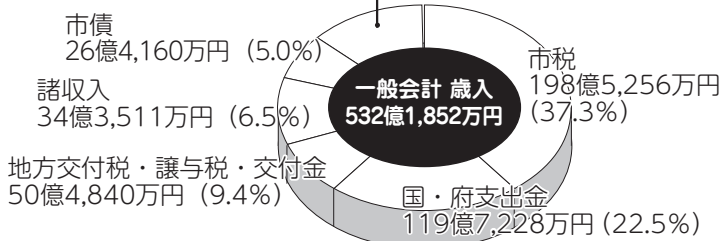
また、財政健全化では、中期財政運営方針に基づき、引き続き行財政改革に取り組み、地方債残高の減少、ふるさと納税の推進などにより、財政基盤の安定化を図ります。

各会計予算

| 会計名 | 令和3年度(万円) | 令和2年度(万円) | 比較増減(万円) | 比率(%) |
|------------------|-----------|-----------|----------|-------|
| 一般会計 | 532億1,852 | 539億7,455 | △7億5,603 | 98.6 |
| 線償還及び借換債除く(*1・2) | 529億6,942 | 508億6,455 | 21億 487 | 104.1 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 110億3,898 | 111億3,142 | △9,244 | 99.2 |
| 公共用地先行取得事業特別会計 | 13億3,430 | 12億6,312 | 7,118 | 105.6 |
| 線償還除く(*1) | 0 | 0 | 0 | - |
| 介護保険事業特別会計 | 96億9,952 | 92億1,790 | 4億8,162 | 105.2 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 13億4,498 | 13億 660 | 3,838 | 102.9 |
| 病院事業債管理特別会計 | 22億7,583 | 23億9,688 | △1億2,105 | 94.9 |
| りんくう公園事業特別会計 | 2億 134 | 1億9,676 | 458 | 102.3 |
| 水道事業会計 | 46億3,207 | 45億9,458 | 3,749 | 100.8 |
| 下水道事業会計 | 86億 187 | 83億7,024 | 2億3,163 | 102.8 |
| 借換債除く(*2) | 82億4,541 | 80億1,908 | 2億2,633 | 102.8 |
| 合計 | 923億4,741 | 924億5,205 | △1億 464 | 99.9 |

(*1) 線償還…利子負担軽減のために償還を繰り上げて行うもの
 (*2) 借換債…満期時に一部を借り換えするもの
 ※これらを除いたものが実質的な予算規模になります。

使用料および手数料・分担金および負担金・繰入金・財産収入・寄附金 102億6,857万円 (19.3%)



一般会計歳入・歳出の内訳

